

IRIS（イリノテカン+TS-1）+ベバシズマブ療法

★今日の点滴のスケジュール

*点滴開始前にアプレピタント(商品名:イメンド)を服用して吐き気を予防します。

	薬の名前	点滴時間	薬の効果
1	デキサメタゾン (商品名:デカドロン) パロノセトロン (商品名:アロキシ)	15分	抗がん剤による吐き気・嘔吐を予防する 目的で使用します。 4日程度効果が持続します。
2	ベバシズマブ (商品名:アバスチン)	30分	がん細胞の増殖を抑える薬です。
3	イリノテカン (商品名 カンプト)	90分	がん細胞の増殖を抑える薬です。
4	ヒシファーゲン配合静注	15分	抗がん剤による皮疹を予防する目的で使 用します。

*点滴終了後、針を刺している部分の炎症防止のため生食 50mL を点滴します。

★1クール of スケジュール

薬の名前	1日目	15日目	16~21日目
イリノテカン		×	お休み
ティーエスワン ()mg	1日2回 朝・夕食後に服用 *2日目朝~15日目夕  1回__錠		

お休み期間について

21日間を1回の治療として繰り返し
行います。症状や経過に合わせてお休
み期間は変わります。

★点滴当日に注意していただきたいこと

- ・点滴部位に異常な痛みを感じたり、点滴部位の周囲が腫れてきたり、かゆみや不快を感じたら早めに医療スタッフまでお知らせください。(血管外に点滴が漏れている可能性があります。)
- ・点滴中に気分が悪くなったり、何か気になる症状が現れた場合には早めに医療スタッフまでお知らせください。



ティーエスワンを服用し始めて、数日の間に嘔吐や下痢、倦怠感でつらい症状が出ましたら、必ず服用を中止し、病院に連絡してください。

★予想される副作用

高血圧(ベバシズマブによる症状です)

高血圧になることがあります。日頃から血圧を測定することが望ましいです。高血圧になると蛋白尿がみられることが多くなります。この時は腎臓の働きが悪くなっている可能性があるので注意が必要です。

鼻血など粘膜からの出血

鼻や歯茎などの粘膜から軽度の出血がみられることがあります。鼻からの出血は通常軽く、自然またはティッシュを詰めることで止まります。歯医者にかかるなど血を伴う処置を受けるときには事前に申し出るようにしてください。

食欲不振・吐き気・嘔吐・味覚の変化

投与後から現れることがあります。症状と時期に合わせて、吐き気止めの薬を使い、対応します。つらい時は我慢せずにお知らせください。

白血球の減少(点滴終了2週間後の頃)・貧血・出血

白血球が減少する事があります。白血球が減少すると病原菌に対抗できず、感染症にかかりやすくなります。日々の手洗い・うがい・マスクなどの感染対策をしてください。また、抗がん剤が血液を作る細胞に作用するため、赤血球が減少し、貧血になったり、血小板が減少して出血しやすくなることもあります。



下痢・腹痛

下痢が起こることがあります。軽度の場合は整腸剤などを使用し、重度の場合は下痢止めの薬を使用することもできます。水分補給を心がけてください。

その他、頭痛、便秘、疲労感、色素沈着、手先の荒れなどの症状が現れることがあります。

ご自宅で以下の症状が現れた場合は必ずご連絡ください。

- ・ 38 度以上の発熱があるとき
- ・ 1 日の半分以上を寝たきりで過ごさなければならないほどのだるさがあるとき
- ・ 吐き気止めの内服をしても、1 日 6 回以上の嘔吐、または水分をとれないほどの吐き気があるとき
- ・ 1 日 7 回以上の下痢があるとき

上記以外でもご自宅でいつもと違うと感じた時には我慢することなく、以下の連絡先にご連絡ください。

電話：0476-22-1500（代表）



Medical Center NARITA HOSPITAL

医療法人鳳生会 成田病院

※ご連絡の際はお手元に診察券をご用意ください。